


JTU きょうと教組

日本教職員組合

NEWS LETTER

2021年6月15日発行 No.152
 京都府教職員組合 小鍛冶 啓
 Kyoto School Staff Union
 Tel:075-252-6771
 Fax:075-252-6772
<http://kyoto-union.net>



現場は疲弊、なんとかしなくては・・・



定期大会で解決に向けて 一歩を踏み出そう

定期大会に向けて現場の実態を相互交流できる材料として、また行政交渉で現場の実態を示すために、組合員の皆さんにアンケートをお願いしました。忙しい中、多くの方から回答いただきありがとうございます。そのアンケートからいくつかを取り上げ、定期大会の討論で一層深めていただき、解決の方向を見出していきたいと思ひます。

6月26日(土)はぜひ、参加をお願いします！！

——アンケートより——

- 毎日の健康観察のチェック、検温していない子の対策、机の消毒、マスクのチェック、給食時の「黙食」の指導、行事の変更による打ち合わせ増
- 予算が厳しい中、さらなる感染対策を一層すすめることを求められます。
- 感染者が出た時の対応業務の増加。
- 感染対策が全市的な対応のため校長会からのトップダウン。若いひとたちが「自分たちで考えて決めていくこと」から遠ざかっていく。
- 妊娠中だが、周りの職員は気を使ってくれるが、体育・行事等周りに負担をかけていると思ってしまう。休憩も取れない。

〈GIGA スクール構想について〉

- ネット環境が以前より悪くなった。どこかが使用すると、情報取り込むのは難しくなる。
- 設定、管理など担任で担うには無理がある。技術的にも、時間的にも、仕事量もUP。
- どんな場面で、有効に活用できるのか、専門のスタッフが必要。教育内容の「プログラミング」が必要と違うか。
- 実際に授業で使用するには担任一人では到底無理！例えば、うまく操作できない、トラブル発生などの対処で、個人的に張り付かなければならな



くなると授業がSTOP。そういったトラブル等に適切に対処するなどの「人材」も必要。「人」も「環境」も整備されてない中、「物」だけ配備された。

- 研修や設定等は大変だった。
- 小学校1年生はまだ無理なので使っていない。
- 小学校1年生でも、すぐにもでもタブレット操作できるよう求められている。
- 端末の管理、更新、ソフトのインストール、端末1台ごとのパスワード・ID管理等すべて現場で行わなければならない。かなりの業務増加
- 得手、不得手があり、担任の実態に左右されてしまう。専属スタッフが絶対必要。

2021年度基本要書提出 子どもと教職員のいのちと健康を守れ！ 教職員の労働条件のさらなる改善を！



きょうと教組は、6月11日(金)に京都府教育委員会 橋本教育長宛の、6月2日(水)に京都市教育委員会 稲田教育長宛の2021年度基本要書提出しました。府への提出にあたって小鍛治委員長は、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出も3回目となり、この間子どもたちの学ぶ権利の保障のために、教職員は奮闘してきた。子ども

たちと教職員のいのちと健康を守ることはもちろんだが、学校教育が十分に機能しないことで、子どもたちの間に存在する格差がますます拡大することのないようにすることが重要だ。新型コロナウイルス感染防止に時間と神経を使う中、新学習指導要領の実施、GIGAスクール構想の導入への対応を迫られている現場の教職員は疲弊している。このような状況の中、子どもたちの学ぶ権利の保障と感染拡大防止のためには、教職員定数増、学級編成基準の改善、人権教育の推進をはじめとする教育条件整備を充実拡大することが、緊急の課題だ。改正された『公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法』第7条の規定に基づく指針を踏まえた府の条例、府教育委員会規則に基づき『府立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針』も改訂されたが、私たち現場教職員の超過かつ困難な勤務実態は、一向に改善されていない。私たちは子ども中心の教育を実践したいと願っている。そのためには教職員自らのからだところを大切に、安心して働ける職場づくりをしな